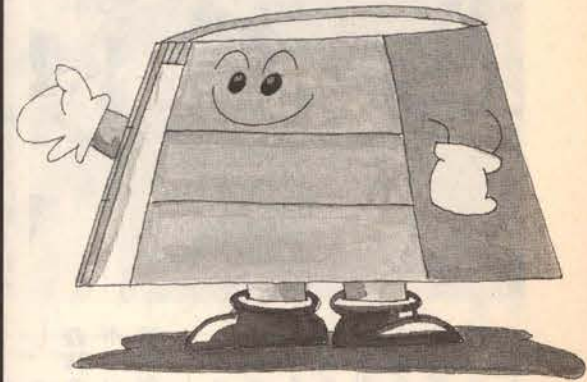


# 連載② 留萌ダム



## 留萌ダムの規模

型 式	中央コア型 ロックフィルダム
堤 高	約41.2m
堤 頂 長	約440m
堤 体 積	約125万 $m^3$
集 水 面 積	42 $km^2$
総貯水容量	約2,330万 $m^3$

## ダムの構造と工程

平成元年度から国の直轄事業で建設工事が行われる「留萌ダム」は留萌市民にとって長年の夢でもありました。広報るもいでは、5月号で第1回目としてダムによる洪水調節の必要性というテーマで、なぜ、留萌川上流にダムを建設しなければならないのかについて掲載をいたしました。今月号では、留萌ダムの建設規模、ダム建設から完成までの工程などについてご説明いたします。

### ダム建設の規模は

留萌ダムは、留萌市幌糠町字チバベリに平成元年から11年（予定）までの11か年をかけ建設されます。留萌川が過去において数々の水害をくり返し、私たちの貴重な財産を一瞬にして流出してきた歴史を考えると、洪水被害を減少させることを目的の一つとした留萌ダムの建設は市民にとって願って

もないことです。

ダムはその建設材料および構造などの違いから、いくつかの型式に分類されますが、留萌ダムの型式は中央コア型ロックフィルダムで、堤体の材料は岩石、砂利、土砂などの材料をトラックで運搬し、ローラーでしめかためて築きつづられます。堤体の高さは41.2m、長さは440m、総貯水容量は2,330万立方メートル、集水面積は42平方キロメートルの計画です。その他、ダム建設により、道道及び市道が水没するため、ダム下流の取付け部分を含めて、道道、留萌北電線延長約5.9キロメートル、市道、チバベリ線及びチバベリ3号通りの延長約5.2キロメートルの道路付替工事もダム本体工事とともに行われます。

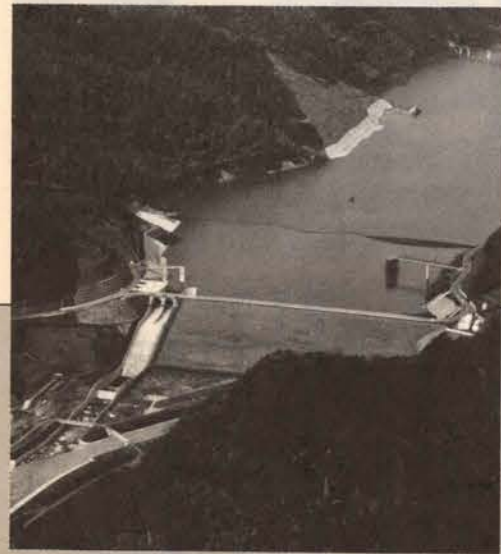
### ダムができるまで

ダム事業の計画立案から建設が完了し管理に移るまでには規模などにより異なりますが約10年から20年の期間を必要とします。計画から完成までの工程は、予備調査（ダム規模の設定・基礎資料収集分析・基本設計）↓実施計画調査（現地調査資料収集分析・設計条件の確認・概略設計）↓建設工事（用地買収・付替道路・工事用道路・仮排水路・堤体基礎掘削・堤体盛土・管理設備・試験湛水などの工事）↓完成（湛水）となってダム管理に移行されます。

留萌ダムは治水対策と水道用水としての水源確保のため早くから建設が望まれ、昭和59年度から実施計画調査が開始されました。この調査の中で昭和63年には留萌ダムが建設されることにより、家屋や宅地・農用地が水没する人々の生活実態調査などを行い26戸が補償の対象となることが明らかになりました。今後これらの人々と補償交渉をして用地買収に伴う生活再建対策などの検討を行い堤体工事を5年ごろから始め完成をめざします。

留萌ダム建設はスタートに立った所です。これから数々の住民のご理解とご協力をいただきながら事業を円滑に進めていきたいと考えておりますのでよろしくご願ひ申し上げます。

## ダム標準断面図



フィルターゾーン

コアゾーン

(堤体)

(堤体)

ロックゾーン

ロックゾーン